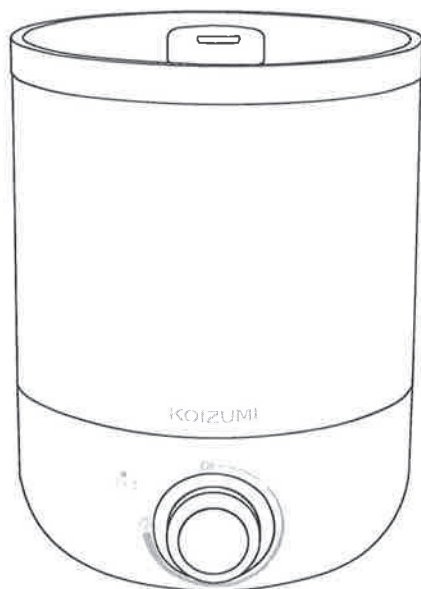


## 超音波加湿器 KHM-2319

### 取扱説明書 〈保証書付〉

#### 目次

安全上のご注意	1～4
ご使用にあたってのお願い	5
適した設置場所	6
各部のなまえとはたらき	7
ご使用前の準備(水タンクに水を入れる)	8～9
正しい使いかた	10～11
お手入れのしかた	12～13
保管のしかた	14
修理を依頼される前に	15
仕様	16
消耗部品について	16
アフターサービスについて	17
お客様の個人情報のお取り扱いについて	17
保証・無料修理規定	18
保証書	19
お客様相談窓口	19



- このたびは、コイズミ超音波加湿器をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をよくお読みください。なお、この取扱説明書には保証書が付いています。  
お読みになった後も、お使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。
- 特に1～6ページの「安全上のご注意」と「ご使用にあたってのお願い」、「適した設置場所」を必ずお読みください。

# 安全上のご注意

- \* ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- \* ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。










## 警告

誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの。

## 注意










誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性のあるもの。

### 絵表示の例

 は、してはいけない「禁止」の内容です	 一般的な禁止	 分解禁止	 水ぬれ禁止
 は、必ず実行していただく「強制」の内容です	 ぬれ手禁止	 接触禁止	
	 必ず行う	 電源プラグを抜く	

\* お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。












## 警告

	●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねて使用したりしない。また重い物を載せたり挟み込んだり、高温部に近づけたりしない。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。		●異常時(こげくさい臭いなど)は運転を停止して電源プラグをコンセントから抜く。そのまま運転を続けると火災や感電の原因となります。運転を停止してお買い上げの販売店または、小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。
	●改造はしない。また、修理技術者以外の方は、分解したり修理をしない。火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店または、小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。		●幼児の手の届く範囲で使用しない。感電やけがの原因となります。
	●電源プラグは清潔にする。刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は拭き取る。ショート・火災の原因となります。		●乳幼児が誤って電源プラグをなめないように注意する。感電やけがの原因となります。
	●お手入れの際は必ず電源を切って電源プラグをコンセントから抜く。感電やけがの原因となります。		●ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。感電・ショート・発火の原因となります。 
			●AC100V以外では使用しない(日本国内専用)。火災・感電の原因となります。






## ⚠ 警告

	<p>●電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因となります。</p>		<p>●医療用吸入器ではありません。吹出口から噴霧されるミストを故意に直接吸引しない。 健康を害する恐れがあります。本機はアロマを噴霧・拡散する目的以外では使用しないでください。</p>
	<p>●水につけたり、水をかけたりしない。 ショート・感電・発火の原因となります。</p>		<p>●お手入れに塩素系・酸性タイプの洗浄剤は使用しない。 水タンク内部に洗浄剤が残り、有毒ガスが発生したり故障の原因となります。</p>
	<p>●吹出口や本体のすき間にピンや針金などの異物を入れない。 感電やけがの原因となります。</p>		<p>●抗菌カートリッジを取りはずしたまま運転しない。 カビや雑菌が繁殖し、悪臭および体質によりまれに健康を害する原因となります。</p>
	<p>●指定の排水方向から排水をする。 排水方向を誤ると本体内部の電気部品に水が入り、火災・感電・ショートの原因となります。</p>		<p>●落としたり投げつけるなど強い衝撃を与えない。 破裂・発熱・発火・液漏れ・故障の原因となります。</p>
	<p>●排水時、電源プラグをコンセントから抜く。 ショート・感電・発火の原因となります。</p>		<p>●子供だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところやペットの近くに設置したり使用しない。 事故・感電・けがの原因となります。</p>
	<p>●排水時送風孔から水が入らないように注意する。 排水の仕方は11ページを参照してください。</p>		<p>●自分で意思表示ができない人だけで使わせない。 事故・感電・けがの原因となります。</p>
	<p>●使用中不調を感じたときは、直ちに使用を中止する。使用后異常を感じたときは、専門医に相談する。 事故や体調不良などの原因となります。</p>		<p>●業務用として使用しない。また、不特定多数の人が使う場所に置かない。 連続過負荷による故障の恐れがあります。</p>
	<p>●ペースメーカーなど医療用電子機器をお使いの方は医師と相談の上使用する。 磁気の影響で医療用電子機器の誤動作をまねく恐れがあります。</p>		<p>●抗菌カートリッジの交換時期を守る。 カビや雑菌が繁殖し、悪臭、および体質によりまれに健康を害する原因となります。</p>

## ⚠ 注意

	<p>●水タンクの水、水タンク内部は、常に清潔にする。 水タンクの水は、毎日新しい水道水を入れ替えてください。水タンク内部は、定期的にお手入れしてください。 汚れや水あかでカビや雑菌が繁殖し、悪臭、および体質によりまれに、健康を害する原因となります。</p>		<p>●ふたを外したまま運転しない。 水やアロマオイルが飛び散り床を濡らしたり、故障の原因となります。</p>
	<p>●持ち運ぶときは運転を止め、水タンクの水を排水する。 水がこぼれて床を濡らしたり、送風孔から水が入り故障や水漏れの原因となります。</p>		<p>●次のような場所では使用しない。 ・ミストが家具・衣類・カーテン・壁・書類などの紙類・天井などに直接当たる場所 ・直射日光の当たる場所、暖房器具や火気の近くなどの極端に高温・多湿になる場所、エアコンなどの風が直接当たる場所 ・カーペットや布団の上、傾斜のある場所などの不安定な場所、または高所 ・電化製品や精密機器の近く ・就寝中に本体に手が届く場所 ・柔らかいクッション・毛足の長いじゅうたん・畳の上 故障や誤動作、周囲に損害を与える場合があります。</p>
	<p>●必ず常温の新しい水道水を使用する。 ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水などを使用すると、水あかが多くなったりカビや雑菌が繁殖しやすくなります。また、温水(40℃以上)は変形・誤動作の原因となりますので使用しないでください。</p>		
	<p>●必ず天然抽出成分100%のアロマオイル(精油)を使用し、合成香料などは使用しない。 一度に10滴(約0.5～1.0ml)を目安に使用いただき、過剰に使用しない。 故障・誤動作・有害物質発生の原因となります。</p>		<p>●アロマオイルを直接本体に付着させない。 故障や外装が溶けるなどの原因となります。</p>
	<p>●ご使用前に抗菌カートリッジの取り付け状態などを確認する。 水漏れや故障の原因となります。</p>		<p>●浴室など水のかかる所や湿気の多い所に保管しない。 絶縁劣化により感電することがあります。</p>
	<p>●凍結の恐れがあるときは、水タンクの水を排水する。 故障の原因となります。</p>		<p>●使用時以外は必ず電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜く。 けがや故障の原因となります。</p>
	<p>●ミストの吹出口などの開口部をふさがない。 正常な動作が妨げられ破損や動作不良、過熱、故障の原因となります。</p>		<p>●電源プラグをコンセントから抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜く。 ショート・感電・発火の原因となります。</p>
	<p>●振動子に触ったり、傷つけたり、押ししたりしない。 事故や故障の原因となります。</p>		<p>●移動するときは運転を止め本体の水を捨てる。 水がこぼれて家財などを濡らしたり水漏れの原因となります。</p>

## ⚠ 注意

	●使用中は本体を動かさない。 水がこぼれて床などを濡らしたり送風孔から水が入り故障や水濡れの原因となります。		●本体を落としたりぶつけたりしない。 ひびが入るなどの破損をして水濡れ等の故障の原因となります。
	●使用中は本体に触れない。 誤動作して、故障や水漏れ、変形の原因となります。		
	●吹出口に指を入れない。 けがの原因となります。		●溢水口から水を排水しない。 送風孔から内部に水が入り込み故障の原因となります。

# ご使用にあたってのお願い

## ■故障などを防ぐために、必ずお守りください

### 使用前

#### ●水道水を使用する

香水、芳香剤、温水(40℃以上)、洗剤、化学薬品、酸性水、アルカリ水、ミネラルウォーター、井戸水は使用しないでください。

### 使用中

#### ●吹出口をふさがない

カーテンやタオルなどで吹出口をふさぐと、異常加熱で変形や故障の原因となります

#### ●本体を落としたりぶつけたりしない

ひびが入るなどの破損をして水濡れなどの故障の原因となります。

#### ●ふたを外したまま使用したり、他の用途には使用しない

水が飛び散り床を濡らしたり故障やけがの原因となります。

#### ●使用中は本体を動かさない

水がこぼれて家財などを濡らしたり送風孔から水が入り故障や水濡れの原因となります。

#### ●加湿しすぎない

加湿しすぎると周囲を濡らしたり、故障の原因となります。

#### ●凍結に注意する

凍結の恐れがあるときは本体の水を捨ててください。凍結すると故障の原因となります。

### 使用后

#### ●本体内のお手入れをこまめに行う

お手入れをしないで使い続けると、水あかやごみなどで汚れ、性能が低下したりカビなどの繁殖や悪臭発生の原因となります。

#### ●保管時は、排水してよく水分を拭き取る

水分が残ったまま長期間保管すると水あかやごみなどで汚れ、性能が低下したりカビなどの繁殖や悪臭の発生の原因となります。

# 適した設置場所

本機は「超音波」方式を採用している加湿器です。

この方式の性質上、ご使用の環境（温度/湿度）条件により、ミストに含まれる水分が周辺に付着することがあります。設置に際しまして以下の注意をよくお読みになり正しくお使いください。

## ■適した設置場所

- ①周辺に吹き出すミストをさえぎるものや紙類など湿気に弱いものがないことを確認してください。
- ②安定したテーブルの上に水平に設置してください。

## ■次の場所では使用しないでください

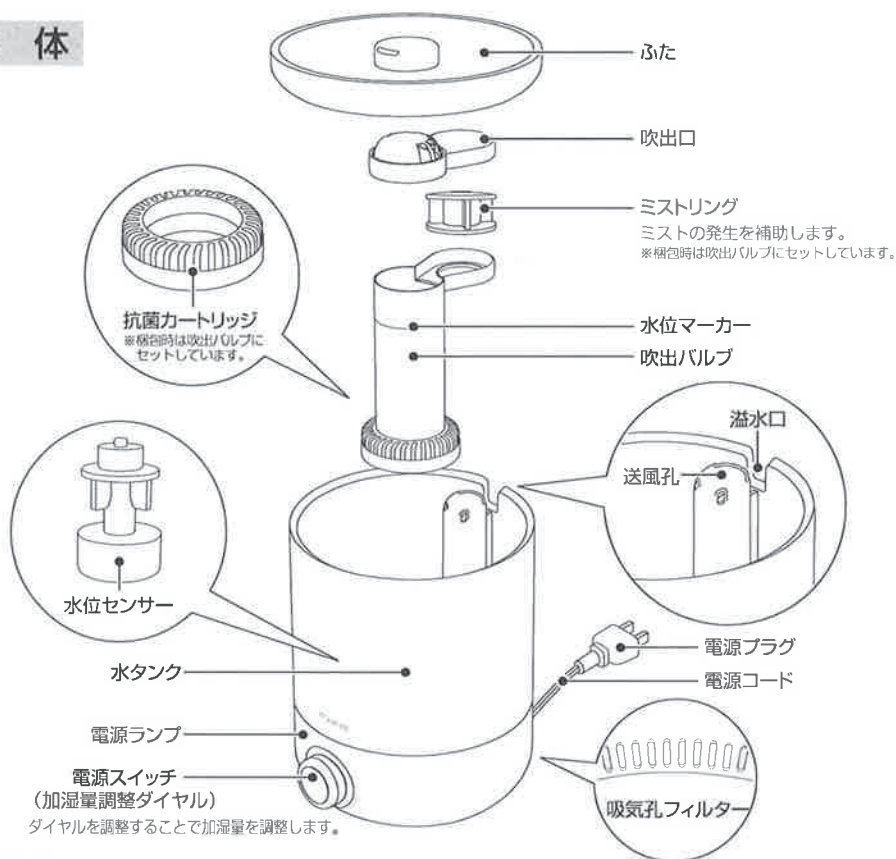
- パソコンやテレビ、音響機器、精密機器（携帯電話など）の近く  
機器に水分や「白粉」が付着して、故障の原因となります。  
誤って倒れたり、誤った使いかたで水漏れをして濡れることがあります。
- 天井、壁やカーテン、家具、ふすま、障子、ポスターなどに吹出口から出るミストが直接あたるところおよびその近く  
濡れてシミになったり、ミストに含まれる「白粉」が付着することがあります。
- 直射日光が当たる場所や暖房機の上または近く  
変形・変色したり、誤作動することがあります。
- 湿度の高いところ  
故障の原因となります。
- 人がよく通るところ  
ぶつかったり、電源コードにひっかかると、本機が倒れて水がこぼれたり故障の原因となります。
- カーペットやふとんなどの上  
不安定な場所に置くと水がこぼれたり誤作動や故障の原因となります。
- ベット脇など就寝中に手が届く場所  
誤って倒してしまい、周囲を濡らすことがあります。

## ■白粉について

ミストの蒸発に伴い機器の周辺に白い粒状のものが残ることがあります。これは、発生するミスト(水道水)に含まれるカルシウムやマグネシウムなどのミネラル分です。有害なものではありませんが、テレビや家具などに付着することがあります。付着したときはやわらかい布などで早めに拭き取ってください。

# 各部のなまえとはたらき

## 本体



## ■抗菌カートリッジについて

抗菌カートリッジは、ご使用になる水タンクの中の水を抗菌するものです。  
カートリッジ内の抗菌ボールに触れても人体や動植物には無害です。

## 付属品

取扱説明書（本書：保証書付）



## ご注意

- 乳幼児の手の届かない範囲でご使用ください。
- 抗菌カートリッジ内の抗菌ボールを取り出さないでください。
- 抗菌ボールを直接口に入れたり飲んだりしないでください。
- 抗菌効果の目安は使いはじめから約1年間です。（ただし使用頻度により異なります。）

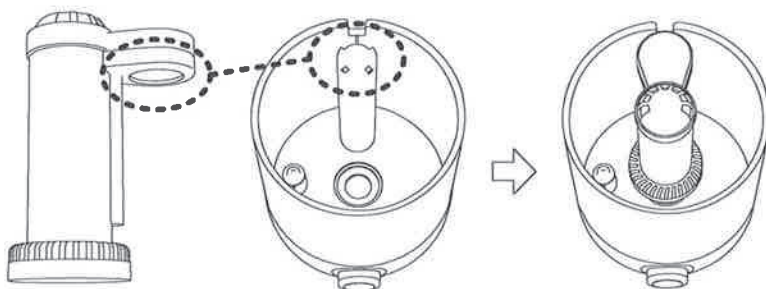
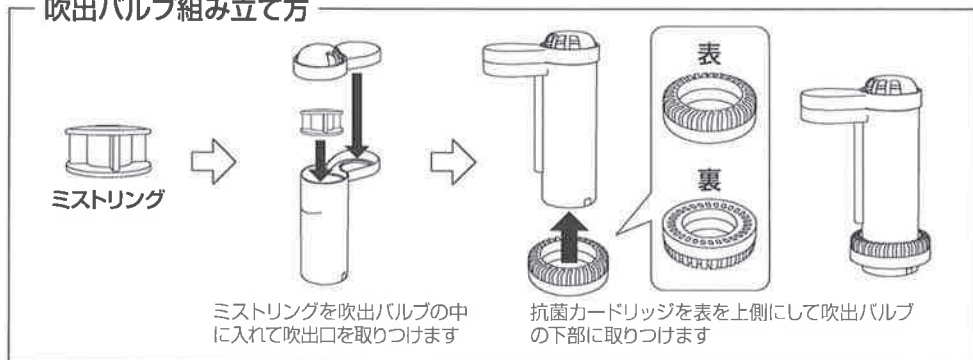


# ご使用前の準備（水タンクに水を入れる）

## 1 水タンクに水道水（飲用）を入れます

水タンクに水を入れる際は、必ず事前に吹出バルブを取り付けるようにしてください。また吹出バルブ内に直接水を入れないようにご注意ください。故障の原因となります。

### 吹出バルブ組み立て方

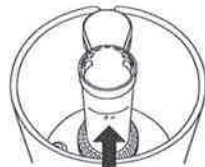


吹出バルブは突出部分の穴に水タンク側の送風孔を合わせるようにして取りつめます。

### ●水道水（飲用）以外は使用しないでください。

温水（40℃以上）、洗剤、化学薬品、酸性水、浄水器の水やミネラルウォーター、井戸水などは絶対に入れないでください。

変形、故障、カビや雑菌の繁殖の原因となります。



吹出バルブに水位マーカースタシがあります

### ●加湿運転可能時間について

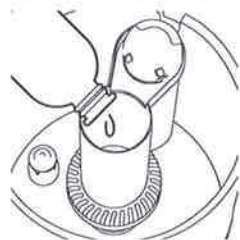
水タンク1杯分の水で約15時間の連続加湿運転が可能です。（加湿量最大時/室温20℃の場合）

### ●水タンクから水があふれないよう、内側の水位マーカースタシ以上に水を入れないように注意してください。

# ご使用前の準備（水タンクに水を入れる）

## アロマオイルを使用する場合

- アロマオイルを使用する場合は吹出バルブ内に直接たらししてください。
- アロマオイルは10滴を目安にご使用ください。
- アロマオイルが加湿器本体に付着したらすぐに拭き取るようにしてください。本体が破損する恐れがあります。

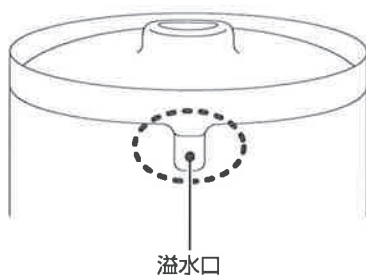
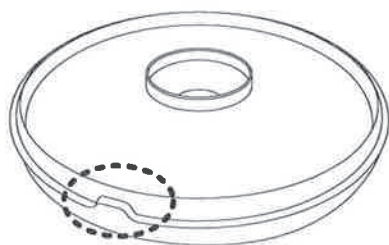


## アロマオイルについて

- アロマオイルは天然抽出物（100%）をお使いください。
- アロマオイルの取扱説明書をよく読んでからお使いください。
- アロマオイルの使いすぎにはご注意ください。気分が悪くなった場合は、使用を中止してください。
- アロマオイルの香りによってアレルギー症状が出た場合は、使用を中止して、医師にご相談ください。
- 香水などは入れないでください。

## 2 ふたはしっかり閉めてください

ふたには内側部分に突起があるので、そちらを本体の溢水口に合わせるようにします。



# 正しい使いかた

## ■ 運転する

水タンクに水を入れるまでは運転しないでください。

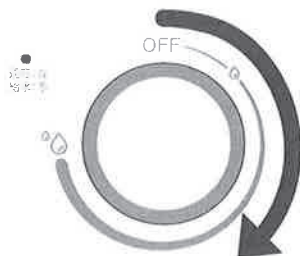
### 1 電源プラグをコンセントにしっかり差し込みます



### 2 電源を入れます

電源スイッチ (加湿量調整ダイヤル) を時計まわりに回してください。

カチッと音がし、電源ランプが青に点灯したことを確認します。ミストが吹出口から出始めます。



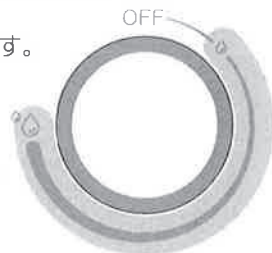
### 3 加湿量調整ダイヤルでお好みの加湿量に調節します

運転中は本体には触れないでください。

必要以上に水が供給されて、水漏れや故障の原因となります。

- 電源を入れた直後はミストが安定しないことがあります。しばらく経ちますと徐々に安定してきます。

加湿量調整範囲



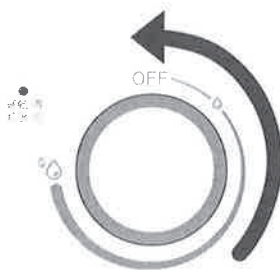
## ■ 運転を停止する

### 1 電源を切ります

電源スイッチ (加湿量調整ダイヤル) を反時計まわりに回し、「OFF」にします。

カチッと音がしてミストが止まります。電源ランプが消灯します。

### 2 電源プラグをコンセントから抜きます。



# 正しい使いかた

## ■水タンクの水が少なくなったら

加湿運転中に水タンクの水が少なくなると電源ランプが赤く点灯し、自動的に加湿を停止します。

電源スイッチを「OFF」にしてください。

- 続けてご使用になる場合は、8ページの「ご使用前の準備」を参照し、水タンクに給水してください。
- 水がなくなる直前に電源ランプが赤く点灯したり、ミストの吹き出しが不安定になることがあります。故障ではありません。
- 電源スイッチを「OFF」にしないで本体を動かすとミストが出る場合があります。給水するときは必ず電源スイッチを「OFF」にしてください。

## ■排水のしかた

1 電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグを抜きます。

2 ふたを本体から外します。

本体からふたをはずすときは、テーブルなどの安定した場所で本体をしっかりと固定してください。

3 本体を図の方向にかたむけて排水します。

排水のあと、本体に付着した水分は、柔らかい布で拭き取ってください。

排水方向を誤ると、送風孔から水が入り、内部の電気部品に水がかかりショートや故障の原因となります。



### ⚠ 警告

- 排水時は必ず電源プラグをコンセントから抜く  
ショートや感電の原因となります。
- 必ず排水方向から排水する  
排水方向を誤ると、ショートや故障の原因となります。
- 送風孔に水を入れない  
排水時など送風孔に水が入らないように十分注意してください。内部の電気部品に水がかかり、ショートや故障の原因となります。

# お手入れのしかた

ご使用にならないときは、必ず水タンクの水を捨ててください。

## ⚠ 警告

- お手入れの際は、必ず電源スイッチを「OFF」にして電源プラグをコンセントから抜く。

## ■本体・ふた

本体外側・ふたは、水を含ませたやわらかい布で汚れを拭き取ってください。

## ⚠ 注意

- 本体の丸洗いはしないでください。  
感電や故障の原因となります。
- シンナー、ベンジン、ミガキ粉、たわしなどを使用しないでください。  
変質・変色の原因となります。

## ■吹出口・吹出バルブ・ミストリング

流水で水洗いし、やわらかい布で拭き取ります。  
・細部の汚れはやわらかいブラシなどで取り除いてください。

## ■水タンク内部

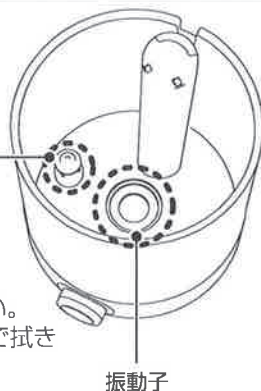
吹出バルブを取り外してから流水で水洗いしてください。  
その際、送風孔に水が入らないようにお気をつけてください。

## ■水位センサー・振動子

水を含ませたやわらかい布で付着した汚れを拭き取ってください。  
細部の汚れはやわらかいブラシで落としたあと、やわらかい布で拭き取ってください。

## ■吸気孔フィルター

家庭用掃除機で軽く吸い込んでください。



### ご注意

- 吸気孔フィルターを本体の中へ押しこまない
- フィルターが脱落して、故障・発火の原因となります。

### お願い

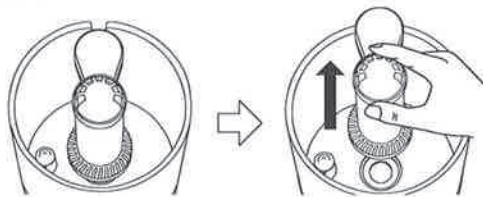
- 振動子の表面を金属ブラシや金属ヘラ、研磨剤入りのたわしやみがき粉などで絶対にこすらないでください。  
変形したり傷がつくと加湿量が弱くなったり、故障の原因となります。
- 水位センサーは定期的にお手入れをしていただき、いつも清潔な状態にしてお使いください。  
数日間お使いいただきますと、水位センサー周辺に水道水のミネラル成分が結晶(汚れ)となって付着してきます。  
このような状態で使い続けると、水位センサーが誤作動して振動子の故障原因となります。  
やわらかいブラシで付着した結晶(汚れ)を落としてください。

# お手入れのしかた

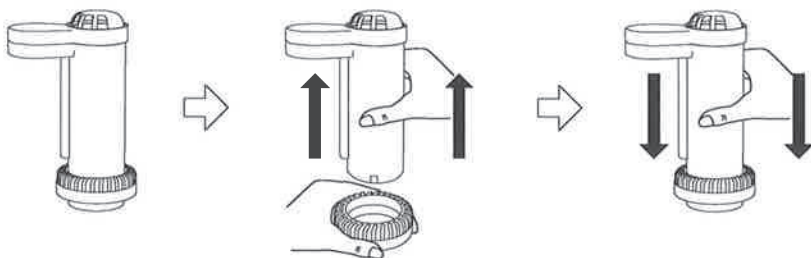
## ■抗菌カートリッジの交換のしかた

### 1 水タンクから吹出バルブをはずします

吹出バルブを真上に持ち上げてはずします。

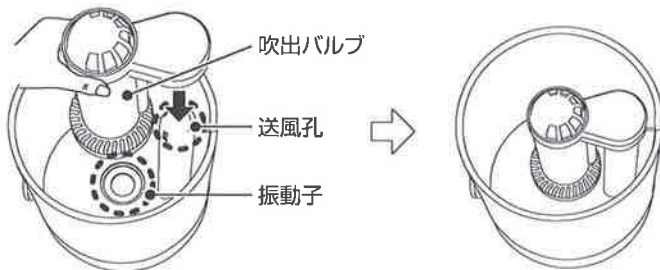


### 2 吹出バルブから抗菌カートリッジを取りはずし、新しいものを取り付ける。 抗菌カートリッジを吹出バルブから引き抜きます



### 3 水タンクに取り付けます

送風孔と振動子部分に吹出バルブがしっかりとはまるように取り付けてください。



#### ご注意

- 抗菌カートリッジをはずすとき、水滴がこぼれることがあります。タオルなどを準備し、本体や床が濡れないように注意してください。
- 抗菌カートリッジをはずした状態で運転しないでください。
- 乳幼児の手の届かない範囲でご使用ください。
- 抗菌カートリッジ内の抗菌ボールを取り出さないでください。
- 抗菌ボールを直接口に入れたり飲んだりしないでください。
- 抗菌効果の目安は使いはじめから約1年間です。(ただし使用頻度により異なります。)

# 保管のしかた

- お手入れをしたあと、水分を拭き取り、よく陰干してください。
- よく陰干したあと、本体内や抗菌カートリッジなどに残り水がないことを確認してください。
- 本体をポリ袋などで包み、元の梱包ケースなどに入れて、湿気の少ないところに保管してください。

## ご注意

- お手入れして、水分をよく乾燥させてから保管する。  
汚れや水分が残ったまま長期間保管すると悪臭やカビなどが発生する原因となります。

# 修理を依頼される前に

「故障かな?」と思ったときは、次の点をお調べください。

このようなとき	お調べいただくこと	処置のしかた	
電源ランプが点灯しない	●電源プラグがしっかり差し込まれていますか?	正しく接続してください	P10
	●電源スイッチを回したときにカチッと音がしましたか?	加湿量調整ダイヤルを時計まわりに回してください	
ミストが出ない	●水タンクに水が入っていますか?	水を補給してください	P8
ミストの出が悪い	●水タンク内に水あかなどの汚れが付着していませんか?	やわらかい布で拭き取ります	P12
	●吹出バルブは正しく設置してありますか?	正しく設置ください	P8
	●水位マーカ―以上に水を入れていませんか?	水位マーカ―まで水を入れてください	
	●ミストリングは正しく設置してありますか?	ミストリングを正しく設置してください	
	●吸気孔をふさいでいませんか?	吸気孔をふさがないでください	—
給油ランプが赤く点灯したりしなかったりする	●水がなくなる直前ではありませんか?	故障ではありません	—
タンクの水が白くにごる	●抗菌カートリッジの成分が溶け出し白くにごることがあります	異常ではありません	—



## 仕様

型番	KHM-2319	タンク容量	約3.5ℓ
電源	AC 100V 50/60Hz	加湿量	約230ml/h(最大時)
消費電力	33W	質量	約1.2kg
連続加湿時間	約15時間(最大時)	コード長さ	約1.8m
外形寸法	約220(幅)*210(奥行)*290(高さ)mm		

※本機の仕様および外観については、改良のため予告なく変更することがあります。

## 消耗部品について

消耗部品を依頼される場合には、お買い上げの販売店か、小泉成器株式会社「部品センター」にお問い合わせください。

名称	品番
抗菌カートリッジ	KHM-092

# アフターサービスについて

## 1. 保証書

- この取扱説明書には保証書がついています。

保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日より1年間です。

## 2. 修理を依頼されるとき

- 保証期間中は

商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証の記載内容により無料修理いたします。

- 保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

## 3. 補修用性能部品の保有期間

- 超音波加湿器の補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。

補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 4. アフターサービスについてご不明の場合

- アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店か、小泉成器株式会社「修理センター」にお問い合わせください。

### 愛情点検

### ★長年ご使用の超音波加湿器の点検を！



このような  
症状は  
ありませんか

- 水漏れする。
- 電源コードを動かすと、途中で止まる。
- 運転中、異常に大きい音がしたり、激しく振動する。
- 本体が異常に熱かったり、こげくさいニオイがする。
- その他の異常や故障がある。

ご使用  
中止

このような症状の時は、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店にご相談ください。

## お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行ないません。

〈利用目的〉

お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理対応のみを目的として使用させていただきます。

なお、この目的のために小泉成器株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

〈業務委託の場合〉

上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。

## 保証・無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った**正常な使用状態で保証期間内に故障した場合、「無料修理」**致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、**商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。**
3. **ご購入、ご購入品等**で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、取扱説明書の小泉成器株式会社「修理センター」へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
  - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
  - (ロ) お買い上げ後の落下等による故障および損傷。
  - (ハ) 火災、地震、落雷、水害、その他の天災地変、異常電圧による故障および損傷。
  - (ニ) 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
  - (ホ) 本書のご提示がない場合。
  - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えた場合。
5. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料はお客様の負担となります。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.
7. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

### 修理メモ

- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または取扱説明書の小泉成器株式会社「修理センター」にお問い合わせください。
- ※保証期間経過後の修理について詳しくは取扱説明書の「アフターサービスについて」をご覧ください。

# 超音波加湿器

## 保証書 持込修理

本書は、本書記載内容（裏面記載）で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

型番	KHM-2319		
お買い上げ年月日	年	月	日
無料修理保証期間	対象部分	期間（お買い上げ日より）	
	本体	1年	
お客様	お名前	様	
	ご住所	〒 TEL	
販売店	店名・住所・電話		

★販売店の皆様へのお願い 必ず全項目をご記入、ご捺印の上、お客様にお渡しください。  
小泉成器株式会社 本社 〒541-0051 大阪府中央区備後町3丁目3番7号 TEL.06(6262)3561

## お客様相談窓口

この商品に関するご意見・お問い合わせについては下記へお寄せください。

### ご意見・ご質問について

#### お客様相談窓口



ナビダイヤル  
(全国共通番号)

0570 (07) 5555

■IP電話などからご利用いただけません

〒541-0051 大阪府大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL.06(6262)3561 FAX.06(6268)1432

### 修理に関するお問い合わせ

#### 東日本修理センター



ナビダイヤル  
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけません

〒344-0127 埼玉県春日部市水角1190 TEL.048(718)3340 FAX.048(718)3350

#### 西日本修理センター



ナビダイヤル  
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけません

〒559-0033 大阪府大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL.06(6613)3145 FAX.06(6613)3196

### 部品に関するお問い合わせ

#### 部品センター



ナビダイヤル  
(全国共通番号)

0570 (00) 3211

■IP電話などからご利用いただけません

〒559-0033 大阪府大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL.06(6613)3211 FAX.06(6613)3299

## 小泉成器株式会社

〒541-0051 大阪府大阪市中央区備後町3丁目3番7号  
TEL.06(6262)3561 FAX.06(6268)1432

受付時間：平日9：00～17：30  
(土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

2021年8月現在(所在地、電話番号などについては変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います)